

事業別評価調書（チェックリスト）

整理番号	1		事業名	市道仲間町・春日町線外3路線道路改良事業			補助・単独	地区名（事業箇所名）		福島市五老内町 外地内		担当部課名	建設部道路建設課			
評価の対象となる根拠		要綱	第3条第1項（1）事業採択から5年経過した時点で未着工の事業													
			第3条第1項（2）事業採択から10年を経過した時点で継続中の事業													
	○		第3条第1項（3）評価実施から5年経過した時点で継続中の事業													
			第3条第1項（4）計画変更を行おうとする事業（軽微なものは除く）													
			第3条第1項（5）その他社会経済情勢の変化に伴い評価実施の必要が生じた事業													
			第3条第2項 事業に係る予算を新たに措置し、又は事業に着手しようとする事業													
			第3条第3項 本要綱と異なる対象事業案件が通知された国庫補助事業等													
	事業概要	（事業目的及び全体計画）														
（1）事業目的 本事業は、新庁舎に関連する周辺道路整備事業であるが、広い歩行者空間の確保と景観に配慮した道路整備を行い、来庁者への利便性を高め、新庁舎を核とした周辺地域のまちづくりに寄与し、市民生活の向上を図るものである。																
（2）全体計画 ①市道曾根田・三本木線（北側）L=355.5m W=15.0～17.5m H18～26 施工中 ②市道仲間町・春日町線（西側）L=307.0m W=10.8～11.8m H18～27 施工中 ③市道新浜町・東浜町線（南側）L=240.0m W=11.0～13.25m H18～24 完了 ④市道浜田町・春日町線（中央）L=593.3m W= 8.2～11.0m H18～未定 施工中																
事業採択年度		H18		完成目標年度		未定		用地着手年度		H19		工事着手年度		H21		
事業費（百万円）		全体事業費（うち用地費）		これまでの投資事業費合計		左の財源別内訳又は負担割合		これまでの年度別投資実績（25年度は見込み値である。）								
								～22年度		23年度		24年度		25年度		
		784 ( 80 )		558 ( 80 )		国 176 県 279 市 103 その他		326 ( 80 )		135 ( )		97 ( )		68 ( )		
進捗率		事業費ベース		71.2%		用地費ベース		100%		その他 ( )				%		
事業の進捗状況		（整備の状況） ①市道曾根田・三本木線（北側）東棟側完了、西棟融雪装置 H25、桜の聖母小道路改良 H26 ②市道仲間町・春日町線（西側）西棟側完了、二小前道路改良 H25～H27 ③市道新浜町・東浜町線（南側）完了 ④市道浜田町・春日町線（中央）庁舎南 H24 完了、庁舎北道路改良 H25～H27、庁舎道路改良 未定 （事業実施上の課題や問題点、今後の事業見通し） 市道浜田町・春日町線（中央）については、新庁舎西棟と合わせた道路改良工事を進めますが、東日本大震災及び原発事故に伴う復旧・復興並びに放射能除染等を最優先とし、新庁舎建設が一時中断となり、道路整備も現時点での着工時期は未定となっている。 今後は、災害の復旧・復興の進捗状況を注視しながら、西棟建設時期と合わせ再度事業着手となる見通しである。														
		（関連事業の進捗状況） 新庁舎東棟 H20～H22 完了 西棟 未定														
	評価		AA ・ A ・ B ・ C													
												評価	AA ・ A ・ B ・ C			

〔事業に関する社会経済情勢〕（特記すべき事項）

（1）変化の有無      有 ・ 無

（2）変化の内容  
本事業は、新庁舎に関連する周辺道路の整備事業であるが、新庁舎東棟建設工事は、平成20年度に着工し平成22年度に竣工した。西棟についても引き続き着工し、平成24年度完了を予定していた。  
しかし、東日本大震災及び原発事故による災害復旧・復興や、放射能対策を最優先に取り組むことから西棟建設工事の着工については延期している。将来、東棟と西棟を繋ぐ地下共同溝の施工が、工程上最優先されることから、市道浜田町・春日町線の着工及び完了時期については未定となっている。

（3）地域の協力体制等  
①庁舎周辺まちづくり懇談会（H18～）  
（松木、浜田、花園、五老内の各町内会及び市役所東通り商店会、新庁舎周辺のまちづくりを考える会）計画段階から懇談会を開催して意見聴取しながら、道路整備を進めている。  
②庁舎周辺まちづくり懇談会では、「明るい街づくり」という懇談のテーマがあり、4町会・2団体からLED防犯灯5灯を平成25年10月に寄贈予定となっている。

〔事業に関連する評価指標等〕

（1）主要な評価指標の変化  
特になし

（2）その他特記すべき事項  
特になし

事業別評価調書（チェックリスト）

地元住民・受益対象者及び関係機関の意向	<p>【地元住民・受益対象者の意向】</p> <p>(1) 事業採択時の意向</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新庁舎建設予定地の市道浜田町・春日町線を存続すること。</li><li>・障がい者にも歩きやすく車椅子も利用しやすい道路にすること。</li><li>・安全面などに十分考慮し、コミュニティ道路として整備すること。</li></ul> <p>(2) 評価実施時の意向</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・景観に配慮した道路整備にすること。</li><li>・地域住民とのコンセンサスを得ながら整備すること。</li></ul> <p>【関係機関・団体の意向】</p> <p>(1) 事業採択時の意向</p> <p>庁舎敷地をセットバックすることにより、広い歩行者空間を設け、緑豊かな植栽、道路デザイン、沿道の街並みなど景観に配慮した、安全で快適な道路を整備すること。</p> <p>(2) 評価実施時の意向</p> <p>庁舎まちづくり懇談会のなかで、コンセンサスを十分に得ながら進めること。</p>	コスト削減や代替案等の可能性	<p>【計画変更の必要性】</p> <p>(1) 必要性の有無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>(2) 計画変更の理由及び内容</p> <p>東日本大震災が発生したことにより、資材や人件費の値上がりによる設計単価見直し検討が必要である。</p> <p>【代替案立案の可能性】</p>	<p>【コスト削減の取り組み等】</p> <p>(特記すべき事項)</p> <p>融雪装置については、地下水還元方式、ヒートポンプ方式、温水ボイラー方式、電熱方式4つのLC・IC・Co2の排出量を比較し、一番安価で環境に優しい地下水還元方式を採用している。</p> <p>LC：ライフサイクルコスト（維持管理費）</p> <p>IC：イニシャルコスト（建設費）</p>			
	<table><tr><td>評価</td><td>AA ・ A ・ B ・ C</td></tr></table>		評価	AA ・ A ・ B ・ C	<table><tr><td>評価</td><td>AA ・ A ・ B ・ C</td></tr></table>	評価	AA ・ A ・ B ・ C
	評価		AA ・ A ・ B ・ C				
評価	AA ・ A ・ B ・ C						
費用対効果分析等の要因の変化	<p>【費用対効果分析】</p> <p>(1) 手法</p> <p>歩行者の安全性の確保、沿道サービスの確保、高齢者・障がい者なども歩きやすいユニバーサルデザイン、地域コミュニティの維持などの観点により、周辺地域のまちづくりと市民生活の向上について分析する。</p> <p>(2) 費用対効果の変化</p> <p>市道浜田町・春日町線については、当初廃止を原則としていたが、新庁舎機能と来庁者（歩行者）の安全性に十分配慮し、生活道路として整備することになり周辺地域のまちづくりと市民生活の向上に寄与する。</p> <p>【費用の変化等で特記すべき事項】</p> <p>東日本大震災が発生し完了予定年度が延期となったことにより、資材や人件費が値上がりしているため設計書の単価見直しが必要となり、今後は事業費増が予想される。</p> <p>【需要効果の変化等で特記すべき事項】</p> <p>道路の拡幅及び歩道設置により交通の円滑化と来庁者への利便性を高めるため、市道曾根田・三本木線（北側）の桜の聖母小学校前に右折レーンを設置し、また庁舎北側の歩道には冬季間の積雪・凍結時でも歩行者が安心して通行出来るよう融雪装置を設置する。</p> <p>市道仲間町・春日町線は南側の第二小学校区間まで整備箇所を延伸し、児童たちの安全で快適な歩行環境の確保を図る。</p>	総合評価と対応方針	<p>【総合評価と対応方針】</p> <p>(1) 総合評価</p> <div>本事業は、新庁舎に関連する周辺道路の整備事業であり、新庁舎建設工事と合わせて広い歩行者空間の確保と景観に配慮した道路整備を行うことにより、来庁者への利便性を高めながら新庁舎を核とした周辺地域のまちづくりと市民生活の向上が期待できるものと高く評価する。</div> <p>(2) 対応方針案及び今後の事業の進め方</p> <table><tr><td>対応方針案</td><td>継続</td></tr><tr><td>今後の事業の進め方</td><td>①新庁舎北側の桜の聖母小学校前、②第2小学校西側脇、④裁判所東側脇の道路整備工事は、平成27年度完成を目指したい。 ④庁舎中央区間については、新庁舎西棟建設工事の着工時期に合わせた道路整備を行う。</td></tr></table> <p>(3) 事業見直し継続、休止、中止する場合の対応</p>	対応方針案	継続	今後の事業の進め方	①新庁舎北側の桜の聖母小学校前、②第2小学校西側脇、④裁判所東側脇の道路整備工事は、平成27年度完成を目指したい。 ④庁舎中央区間については、新庁舎西棟建設工事の着工時期に合わせた道路整備を行う。
対応方針案	継続						
今後の事業の進め方	①新庁舎北側の桜の聖母小学校前、②第2小学校西側脇、④裁判所東側脇の道路整備工事は、平成27年度完成を目指したい。 ④庁舎中央区間については、新庁舎西棟建設工事の着工時期に合わせた道路整備を行う。						
<table><tr><td>評価</td><td>AA ・ A ・ B ・ C</td></tr></table>	評価	AA ・ A ・ B ・ C					
評価	AA ・ A ・ B ・ C						